

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年7月14日（木）5時間目

## ユニットリーダーによる講座

特別養護老人ホーム オークス東海

介護福祉士/ユニットリーダー 桐原 奈緒也 様

（茨城県社会福祉協議会より紹介 ふくし“きらり人”）

講座では、介護士には、「自立支援」を行うために、利用者さんのできないところを探る視点が必要なこと、「その人らしい当たり前の生活を送ってもらう、または取り戻すという目標と一緒に達成するパートナー」であることを学びました。また、目標をどう叶えるかについて、他者の前に、まずは自分が目標を達成できる体験しないと他者の支援に繋がらないため、生徒に対し「小さな簡単に達成できそうな目標を立て、沢山成功した経験をつくるように」とのメッセージをいただきました。

桐原先生の看取りの必要なある利用者さんとの出会いをご紹介いただき、「この方とどう関われば良いか」考え、「最期をどう迎えたいか」利用者さんの声を聞き、その考えに寄り添い、目標達成に向け、さまざまな取り組みを考え、実現していく大切さを学ぶことができました。利用者さんの身体機能が衰えるなか、桐原先生が飲食店で勤務された経験から、「目で、耳で、香りで、五感で楽しく、美味しく食べてもらう」と食事について工夫されたとのお話も印象的でした。生徒からの「大変なことは何ですか」との質問に対し「大変なことはない。例えば、認知症の方への対応など、病気を理解する事で解決することがある」「利用者さんの立ち上がりたいたいという目標に対し、立ち上がる方法は色々あり、立ち上がるためにはどうすれば良いか、どこができないか分析して、どこをサポートするか考える」とお話は、相手を理解しようとする姿勢や専門職として理論を学び、実践に繋げることの大切さについて改めて認識する機会になりました。ご指導、ありがとうございました。



